

ASHRAE 冬季大会・AHR Expo (テキサス州ダラス)

2007 Dallas Winter Meeting / AHR Expo

参加レポート

TSC21 推進協議会事務局



開催期間： ASHRAE 大会 2007 年 1 月 27 日 (土) ~ 1 月 31 日 (水)
AHR Expo 2007 年 1 月 29 日 (月) ~ 1 月 31 日 (水)
開催場所： ASHRAE 大会 Adam's Mark Hotel (400 North Olive Street)
AHR Expo Dallas Convention Center (650 South Griffin Street)

日程：

月/日 (曜)	発着地	摘要
1/28 (日)	東京 (成田) 発 19:00 ダラス (DFW) 着 15:37	(ダラス泊)
1/29 (月)	ASHRAE 大会 / AHR Expo 参加	(ダラス泊)
1/30 (火)	ASHRAE 大会 / 11AM ~ 13PM: Poster Session 参加 AHR Expo 参加	(ダラス泊)
1/31 (水)	ASHRAE 大会 / AHR Expo 参加	(ダラス泊)
2/01 (木)	ダラス (DFW) 発 12:05	(機内泊)
2/02 (金)	東京 (成田) 着 16:35 通関手続き後解散	

*DFW : Dallas/Fort Worth International Airport

参加者：

猪岡@中部大学、富田@東京電力、二宮@日建設計、落合、村田、竹内@株式会社システック環境研究所

ポスターセッション

Adams Mark Hotel 1 階の宴会場に掲示用のフレームと机、いす 2 個が用意されていた。1 時間以上前から到着してロビーで入室を待っていると、同じようにポスターを持った人たちが何人が集まってきた。約 1 時間前になると、入場を許され、最初に担当委員から簡単な説明があり、発表者はそれぞれ準備を始めた。しばらくすると我々のブースに担当者が見回ってきて、ポスター内容のチェックを行い、サインしていった。

他の発表者を見てみると、ポスターの作成の仕方は人によって大きく異なり、規定の大きさいっぱいに作っているほうが少ない。中には A3 の紙にキーワードを印刷したのもあった。

開場と同時に、多くの人が会場に入室して、熱気にあふれていた。入場の際には ASHRAE のレジストレーションを厳重にチェックしていたのが印象的だった。(後の報告によると本大会の登録者は 2,634 人であった。)

TSC21 発表への質問・意見をまとめると以下のようなものであった。

•TSC21 の取り組みについてアメリカでもやろうとしている人はいるが、なかなかできていない状況である。大変先進的なよい取り組みである。

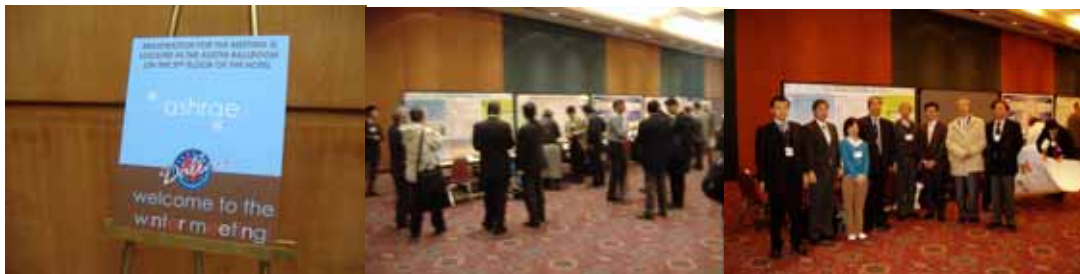
(Gang Wang 氏 : University of Nebraska)

•自分たちも同じことをやろうとしている。BA と OA でネットワークを分離しているのはアメリカでも同様である。

(Honeywell 社)

•現在、インドの地域冷暖房の開発プロジェクトをすすめており、このようなシステムの開発を考えている。日本に支社があり、訪日しているのでぜひ、協働したい。TSC21 推進協議会への加入も検討する。

(Fred Ebrahimi 氏 : QUARK 社)



AHR 展示会

ダラスコンベンションセンター(<http://www.dallasconventioncenter.com/>)にて開催。約 66000m² の広大な空間に 1891 社の出展があった。後の発表によると来場者は約 47,000 人 (28,130 visitors + 19,065 exhibitor personnel) とのこと。

TSC21 と関連の深い分野における展示群として以下の 2 つがあった。

Building Automation and Control Showcase では約 100 社の出展があり、ZigBee など無線対応のセンサ類が目立っていた。コントローラでは WEB サーバを内包し PC から WEB ブラウザを用いて設定、監視が簡単にできるものが見られた。また、マシナーマシンの場合に HTTP を利用したものも見られたが、独自の XML を利用しており、oBIX などによる統一化については静観している感があった。

Software Center では約 50 社の出展があった。CAD、CFD 系の設計支援ツールや CRM (Customer Relationship Management) 系などの経営支援ツールがあった。エネルギーマネジメントのソフトウェアとして履歴グラフ表示、グラフィック表示、ロジック構築といった、Prog の概念をより高度に具現化したようなソフトウェアもみられた。



Educational Sessions

AHR の会場内では、無料で聴講できるセミナーがいくつか開催されていた。そのなかでも特に興味深いセミナーに参加した。

Green Building - Automation for a Sustainable Future / 1:30 PM Rm D167

昨今の社会情勢を受けて、持続可能性についての認識がアメリカ国内でも高まっており、新たなビジネスとして注目されている。環境問題を扱ったドキュメンタリー映画の公開などの効果もあってか、意識の高い顧客が増えており、コミショニングやエネルギー管理などのグリーン・ビルディング関連技術の効果が認識されつつある。そのような流れのなかで、持続可能なグリーン・ビルディング実現のために自動制御はどう関わるべきかについて講演があった。

キンベル美術館（ルイス・I・カーン）見学

ダラスの隣町、電車で1時間ほどのフォートワースのミュージアム地区に位置する。故キンベル氏の婦人が設立した財団が経営され、このような素晴らしい美術館が無料で開放されている。来館者には上品な老夫婦やご婦人方が多く見られる。

建物はポールト屋根を幾重にも連続させたシンプルな外観であるが、ディールが素晴らしい。内観も驚くほど飾らないが、それがとても美しい。湾曲した打ち放しコンクリート天井がトンネル内部のようであり、木の床との取り合わせは、優しく暖かい雰囲気を出している。何と言っても、トップライトから漏れる自然光がすばらしい。ステンレスの網戸状のフィルターから、差し込む光を柔らかくコントロールされている。

キンベル美術館は、20世紀の巨匠の1人であるルイス・カーンの設計によるアメリカ名建築の一つ。ここの売店では、美術に関する書籍の他に、多くの建築の書籍が置かれている。展示の数々の美術品だけでなく、このキンベル美術館自身を芸術として見学に来る建築関係者は如何に多いかを物語っている。

3333 Camp Bpwie Blvd.

(817)332-8451

www.kimbellart.org



フォートワース現代美術館（安藤忠雄）見学

キンベル美術館の隣に位置する。1997年の国際コンペで安藤忠雄の案が選ばれ、5年がかりで建設された。Y字型の柱で支えられた屋根と、コンクリート+ガラスのダブルスキン構造のデザインであり、光が反射する人工池で囲まれていた。2階建て、総床面積は14,290m²。

通常の入館料は6\$だが水曜日は無料開放と気前が良い。キンベル美術館と比べると規模は大きく、主として第二次世界大戦後の現代美術品(絵画、写真、彫刻)が数多く展示されていた。

3200 Darnell St. at Univercity Dr.

(817)738-9215

www.themodern.org

